

令和6年度 第1回 草津市基盤施設指定管理者選定評価委員会議事概要

開催年月日	令和6年10月30日(水)	開催時間	午後5時から午後7時45分
出席者	①～⑤委員4名、施設担当職員3名、事務局4名、申請者		
傍聴者	①～⑤0人		
付議事項	指定管理者の候補者の選定に係る意見を求めることについて 「草津駅西口自転車駐車場・草津駅西口第2自転車駐車場・草津駅西口第3自転車駐車場」の指定管理者の候補者の選定		
1	開会		
2	委員・事務局の紹介		
3	「草津駅西口自転車駐車場・草津駅西口第2自転車駐車場・草津駅西口第3自転車駐車場」の指定管理者の候補者の選定【公募】 <ul style="list-style-type: none"> ・担当課より施設概要等説明 ・申請者プレゼンテーション① ・質疑応答 ・申請者プレゼンテーション② ・質疑応答 ・申請者プレゼンテーション③ ・質疑応答 ・採点(非公開) ・審査・採決(非公開) 		
4	事務連絡		
5	閉会		

- ◆令和7年3月31日で指定期間満了を迎える施設において、申請のあった団体（以下「申請者」という。）が指定管理者として適任かどうか審議を行った。

1 担当課説明

施設概要や評価のポイント等について説明

2 申請者によるプレゼンテーションおよび質疑応答

- ◆葛井株式会社（以下「葛井」という。）による申請内容の説明：略

（以下 質疑応答）

<委員（以下「委」という。）>：これまでの実績を見ていると、愛知県や岐阜県、三重県等の東海地域が中心であり、滋賀県周辺では自転車駐車場の管理実績が無いと思うが、新しい地域での雇用を考えているのか、もしくは既に他の地域で働いている職員で新しい体制を構築していくのか。

<葛井>：これまでも新しい施設を管理する場合は、新たな人材を確保してきている。今回も現地で新たな人材を確保していきたいと考えている。

<委>：現在、当該施設で働かれている方を雇用する予定はあるか。

<葛井>：現在働かれている方々は、当該施設の管理経験が豊富であるため、積極的に採用していきたいと考えている。

<委>：自動券売機の設置等、今までの設備に無かったような新たな提案がされているが、仮に自動券売機の設置が実現しなかった場合、管理運営体制やサービスの質は低下せずに提供できるか。

<葛井>：自動券売機の導入について実現しない場合でも、人員に関してはきちんと配備しているため、問題なく運営できると考えている。

<委>：自動券売機の仕様について、どのようなものを想定しているのか。

<葛井>：自転車を駐車される前に自動券売機で料金をお支払いいただき、発券された券を自転車に貼り付けていただくことを想定している。

<委>：自転車とバイクでは、料金の設定は異なるのか。

<葛井>：当該施設については、自転車とバイクの料金設定が異なるため、自動券売機においても、それぞれの料金設定を行う。

<委>：シフトを見ていると、勤務時間が4時間程度で切られており、少し短いような気がする。他社では6時間程度で切られるパターンが多いが、どのようにお考えか。

<葛井>：シフトについては、あくまでも現在の想定であり、現場の状況を見ながら変更していく予定である。

<委>：では、現在働かれている方や周辺地域で雇用する新たな人材を踏まえて、シフトで回していくということで良かったか。

<葛井>：そのとおりである。

<委>：経営努力として、自動販売機の設置や防災備品の配備とあるが、自動販売機については、災害対応型の自動販売機を設置するということか。

<葛井>：災害時については、料金を支払わなくても中の飲料が出てくる仕様を考えているため、災害時にも対応できると考えている。

◆シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社（以下「シダックス」という。）による申請内容の説明：略

（以下 質疑応答）

<委>：現在、指定管理者として施設を運営されているため、今までの取組を継続していくことになると思うが、これまでと何か違った新しい取組があれば教えてほしい。また、他の地域でも自転車駐車を運営されているが、草津市の特徴を踏まえた取組があれば教えて欲しい。

<シダックス>：草津市の自転車駐車場において利用者からお声をいただいているのは、電動キックボード（特定小型原動機付自転車）の利用についてである。この件については、弊社で利用者ニーズを把握し、料金設定や場所の確保等を検討したうえで、市と協議していきたいと考えている。

<委>：電動キックボード（特定小型原動機付自転車）は自転車として取り扱うのか、バイクとして取り扱うのか。

<シダックス>：法律上はバイクに相当すると認識しているが、この辺りも細かく確認し、市とも協議した上で、今年度内に検証、次期指定管理期間には運用できるよう対応していきたい。

<委>：現在、利用者はどのように料金をお支払いされているのか。

<シダックス>：定期利用の場合は、入口でシールを見せていただいている。一時利用の場合で、回数券を事前に購入されている場合はチケットの提示、購入されていない場合はその場で料金を徴収している。

<委>：ホームページからはどの程度問い合わせがくるのか。

<シダックス>：月5件～10件の問い合わせがある。ホームページでの受付を開始したのは、今年1月からなので、これから周知に力を入れていきたいと考えている。

<委>：ホームページには具体的にどのような問い合わせがくるのか。

<シダックス>：1番多いのは、定期待ちをされている方からの状況確認の問い合わせである。このように、弊社ではなかなか解決できないような問い合わせについては、市と協議しながら対応していきたいと考えている。その他の問い合わせ（施設の軽微な修繕等）については、弊社で対応している。

<委>：草津駅西口第3自転車駐車場は、定期的に巡回されているとのことだが、これはどの時間帯に何名で実施されているのか。

<シダックス>：草津駅西口第3自転車駐車場については、自動精算機があるため、基本的には無人であるが、草津駅西口・西口第2自転車駐車場の人員3名のうち、1名ずつ巡回している。夜間については、人員交代の際に、2名で巡回し、問題が無ければそのまま勤務終了としている。

<委>：定期巡回と聞いていたので、時間が決まっているのかと思ったがいかがか。

<シダックス>：お客様の対応が最優先のため、混み具合によって多少の時間のズレはあるが、基本的に11時半～12時に1回、16時半～17時に1回実施している。それ以外の時間は、お客様の状況を見ながら臨機応変に実施している。

<委>：電動キックボード（特定小型原動機付自転車）については、ホテルやマンションの一角に置かれているようなイメージだが、御社で管理されるのか、別の会社のものを取り入れるのか。

<シダックス>：利用者からは、電動キックボード（特定小型原動機付自転車）の駐車枠が無いが、駐車できるかといった問い合わせがある。弊社で準備しているのは、パンクした場合やどうしても帰れない場合を想定した貸出自転車（通常の自転車）である。電動キックボード（特定小型原動機付自転車）に対する声については、弊社としても新しい声だと考えており、市と協議して、利用者の大切なものを安心して駐車できるように努めていきたい。また、今後、電動キックボード（特定小型原動機付自転車）以外にも新たな意見が出てくるかもしれないので、ホームページの認知度をもっと上げ、住民の声を聴いて対応していきたいと考えている。

<委>：定期待ちをされている方はどの程度おられるのか。

<シダックス>：約280名であり、数か月先まで予約が埋まっている状況である。

<委>：定期利用と一時利用の割合について、定期利用の割合を増やすといった対応はできないのか。

<シダックス>：草津駅西口第2自転車駐車場については、定期待ちが約280名おられるが、草津駅西口第5自転車駐車場は待ちが無い状況である。やはり、駅から少し離れた場所にある草津駅西口第5自転車駐車場よりは、駅に近い草津駅西口第2自転車駐車場の空きを待たれる方が多い。そのため、今回新設される草津駅西口自転車駐車場をいかに上手く活用できるかがポイントであると考えている。利用者の様子を見ながら、定期利用の割合を増やすなど、市に対して提案していきたいと考えている。

◆A（以下「A」という。）による申請内容の説明：略

（以下 質疑応答）

<委>：システム化により経費を削減されるとのことだが、無人の時間があつたり、複数施設合わせて職員1人だけという時間があるが、これまでの他市での実績を踏まえると、問題ないという見込みか。

<A>：これまで多数の自転車駐車場の管理をしてきた経験があり、その経験を踏まえて計画しているため問題ないと考えている。また、係員が居ない時間帯でもコールセンターとは24時間常に連絡が取れる体制であるため、安心いただきたい。また、3月や4月の定期更新時期に関しては、この配置では少ない可能性があるため、現場の状況を見つつ、人員を増やすなど柔軟に対応していきたい。

<A>：システムは御社の独自システムなのか。

<A>：ミライロIDとの連携ができるシステムについては、独自システムである。弊社以外にミライロIDと連携ができるシステムを開発している企業は、把握している限りでは1者程度である。

<委>：ミライロIDとの連携システムを利用される方は、他市でも多いのか。

<A>：当該システムを開発してから1年足らずであり、まだ実績が少ない。既に導入している広島市や藤井寺市の状況から言うと、毎日利用される方も一定数おられると認識している。

<委>：現在、当該施設で働かれている方を雇用する予定はあるか。

<A>：弊社の勤務条件や労働条件に合致した上で、継続雇用を希望される場合は柔軟に対応していきたいと考えている。

<委>：様々なシステムを導入するということが、仮に指定管理者に選定された場合、

4月までに準備可能か。どのシステムを導入するかは、市と協議の上決定されていくと思うが、想定しているもの全てを導入できなかった場合、人材確保など対応は間に合うのか。

<A>：4月まで時間的に余裕があるわけではないが、11月に事業者が決まり、市と協議を進めることができれば対応できると考えている。また、人材確保についても、思うように進まなかった場合は、委託先のパートナー企業に協力をお願いし、適切に人材を確保したうえで施設の管理運営をスタートさせる予定である。

<委>：市との協議の結果、想定していたシステムを導入することができなかった場合、対応は大丈夫か。

<A>：代用品や看板などで対応していく。

3 採決

各委員による採点の結果、いずれの団体も最低基準点を上回っており、その中で最も高い得点を得た、「蔦井株式会社」を指定管理者の候補者とし、その次に評価点の高い「シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社」を次点候補者とすることが適当であるとの結論に至った。